

関係者各位

中央労働災害防止協会
令和4年 3月 2日

当協会運営センター主催の研修会受講者における新型コロナウイルス抗原検査陽性反応の判明について

当協会が運営に当たっております大阪安全衛生教育センター(大阪府河内長野市)(※)が主催した研修会の受講者1名について、新型コロナウイルス抗原検査陽性反応が判明いたしましたので、お知らせいたします。

当該受講者は2月28日(月)～3月4日(金)に開催される研修の2日目(1日(火))午前中に参加されたあとに新型コロナウイルス抗原検査を受け、陽性反応が出ました。

研修の実施にあたっては、全ての受講者に対し検温を行い、マスクやフェイスシールドを着用するとともに、教室では2人掛け机を1人掛けにして座るなどして1m以上の間隔を空けた上で、毎回研修後に研修室の消毒を行うなど、感染予防対策を徹底しております。

こうした状況から、大阪府の「事業所における新型コロナウイルス感染症感染急拡大時の対応について」にある「事業所内の濃厚接触者確認フロー」により濃厚接触者はいないと判断し、当該研修の他の受講者をはじめ、関係者への連絡と健康確認など、適切に対応しています。

現在、体調不良を訴える当該研修の受講者は他におらず、これらを踏まえ、当センターでの研修は、予定通り実施することとしております。

当協会では、研修をはじめとする各種事業に際しまして、徹底した感染予防対策を講じておりますが、今後、従来に増して感染防止に万全を尽くしてまいります。

※大阪安全衛生教育センターは、労働安全衛生法第63条に基づき、労働災害や職業性疾病の防止のために、労働安全衛生に関する指導者や専門家を養成することを目的として1978(昭和53年)年に労働省(現:厚生労働省)により設立され、中央労働災害防止協会がその運営に当たっております。

中央労働災害防止協会(中災防)

	理事長	竹越 徹
【担 当】	総務部長	大隈 俊弥
	同 次長	杉田 修康
	総務部総務課長	柴田 千鶴
(電話)03-3452-6073 (Eメール) somu@jisha.or.jp		